

NO. 5	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	3	東 出 洋 一	<p>1. 次世代のICT教育と学習環境づくりについて</p> <p>月刊誌「先端教育7月号」を拝読させていただきました。この中で藤澤教育長は「ICTの時代、今までの当たり前は当たり前でなくなっていく。」と熱く語っていたのに大変感銘を受けました。</p> <p>また、これまでの経歴が物語るとおり、自ら会社をおこし、これからの子どもから大人まですべての世代が学び続け、一人ひとりが持つ無限の可能性を引き出し、いきいきと活躍する社会の実現をとつづけています。</p> <p>未来ある町の宝であり財産である木古内町の子どもたちに、教職員をはじめ教育委員会としてどう向き合っていくのか、教育長の見解を伺います。</p> <p>(1) 人間としての最低限のルール、マナー、礼儀については、家庭、学校を含めどのように教えていくのでしょうか。</p> <p>(2) 自然に親しむ教育の一環として、体験学習を含め、一次産業とのかかわりについてどのようにお考えでしょうか。</p> <p>(3) グローバル社会において、子どもたちの英語力をどのようにして身につけさせるのでしょうか。</p> <p>(4) 民間からの新任教育長として、我が町の学校教育・社会教育などに対する考え方について伺います。</p> <p>2. 通学助成金の全額無償化について</p> <p>他自治体所在高等学校通学補助金および、道南いさりび鉄道通学利用者助成金については、決算では不用額が何年も続いている状況です。</p> <p>未来ある子どもたちは町の大切な財産であり、宝でもあります。</p> <p>通学生を持つ家庭では、コロナ禍による経済の回復がままならない中での物価高で、家計は大きな打撃を受けています。せめて景気が回復するまでもよいので、高校生、専門学校生、大学生を持つ家庭への生活支援として、町独自の支援策を講ずるべきと考えますが、町長の見解を伺います。</p>
			教育長
			町 長

3. 高規格幹線道路函館・江差自動車道の冬季間の情報共有について

町 長

高規格幹線道路函館・江差自動車道茂辺地・木古内間は、今年3月26日に開通し、利用者からは利便性が高まったと高い評価を得ています。

来町する観光客や通勤者など、さまざまな人が利用しています。

町にもたらす経済効果は大きいと思いますが、今年は初めての冬道走行になります。私の周囲では冬は利用しないという声も聞かれます。

そこで伺いますが、町として函館開発建設部、除雪事業者、警察、消防署などの関係機関と冬期間の道路の維持管理等について協議をしているのでしょうか。約11kmが木古内町内の区間であり、橋梁が4本、長い上り・下り、日陰部分も多く降雪量も多いことから、万一の事態を想定する中で町の役割があると思います。

事故を無くすための方策を考えなければならないと思いますが、町としての役割をどのように考えているか町長の考えを伺います。